

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要					
事業開始年度		ひとり親S52～、児童扶養手当S37～		根拠法令・例規等	児童扶養手当法他
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先	担当課(室) 保健福祉部子ども課 職・氏名 こども福祉係長 大森賢二 電話 0869-64-1825 このシート作成に要した時間 1.0 時間
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	施策	02 ひとり親家庭福祉		
事務事業名		01	児童扶養手当給付事業等		

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	児童扶養手当・児童を監護する母等 助産施設措置事業・経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦 遺児 奨学金・市内に住所を有する遺児 ひとり親家庭等医療費給付事業・配偶者のない者であって18歳未満の者を有する者及びその児童	
目的(何のために)	ひとり親家庭等の福祉の増進と自立支援に寄附する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	制度を周知し支給漏れのないようにする。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	児童扶養手当給付事業	18才までの者又は20才未満で一定の障害の状態にある者を監護する母に対して支給	○
	助産施設措置事業	経済的な理由により入院助産できない妊産婦へ支給	○
	遺児奨励費支給事業	義務教育終了前の遺児に対して支給	○
	ひとり親家庭等医療費給付事業	配偶者のない者であって18才未満の者を有する者及びその児童に対して支給	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費	千円	123,432	122,314	131,425	
	必要人員人件費	千円	0.62人	4,586	0.59人	4,450
	事業費計	千円	128,018	126,764	135,554	
	国県支出金	千円	38,188	42,425	45,607	
	受益者負担金	千円	72			
	繰入金	千円				
	その他()	千円	100	100		
	一般財源	千円	89,658	84,239	89,947	
	受益者負担比率	%	0.1%			
	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
児童扶養手当受給者数	説明	児童扶養手当の受給資格がある者(所得制限などで支給停止となった者以外)				
結果指標量	事業	262	250	254		
対前年比	%	-	95.4%	101.6%		
活動コスト	円	116,340,829	110,721,468	119,646,169		
単位当たりコスト	円	444,049	442,886	471,048		

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
ひとり親家庭等医療費及び児童扶養手当 受給者数等	目標値(A)	808	951	929	929	100%
	実績値(B)	808	951	929	929	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請漏れのないよう対象者を把握する。						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C	

進行年度(H22年度)の改革改善内容																
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了							○	
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
						○										
説明	交通遺児見舞費等事業については、寄附金の受領先が変更になったため、廃止とした。															

総合評価			
国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。	評価区分 <A~E>	C	

平成23年度の方向性及び取組目標																
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○						
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
	○															
取組目標	国の制度に則して処理する。															

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意しない目的やその数値目標である成果指標に下向き矢印